

<講義紹介>

経営学特別講義「我が社の経営と京都」

龍谷大学経営学部教授

細川 孝

龍谷大学経営学部では毎年、後期に「我が社の経営と京都」という経営学特別講義を開講しています（受講生は、3 回生以上）。この特別講義は若干の名称変更がありましたが、2003 年度から開講されていますので、18 年目、18 回目の開講となりました。今年度も京都産業学センターが提供する形で開講されました。

わたしは 2018 年度から本科目のコーディネートを担当させていただいています。この 3 年間は、①経営者の方の講演の回数を 5 回にするとともに、②各経営者の講義に対する「振り返り」の学習の機会を設けるという形で運営しています。「京都の文化と産業」（龍谷大学非常勤講師 北野裕子 先生）と「技術史からみた京都企業－島津製作所の事例－」（島津製作所 創業記念資料館 川勝美早子 先生）は引き続き担当させていただいております。

今年度は、以下のような趣旨でご講演をお願いしました（ここでの趣旨説明は、科目担当者によるものですから、誤った記述等がありましたら、責任は担当者に帰すものです）。

10 月 27 日 タキイ種苗株式会社

（総務部長兼広報出版部長 本田学 氏）

同社は「タネ（種）」をビジネスにしています。F1（交配種）の開発と生産に強みを有しており、日本を代表する種苗メーカーの一つです。他の有力種苗メーカー 2 社が上場（株式公開）しているのに対し、同社は非上場を貫いています。1835 年に創業された長寿企業でもあります。竹原義郎『ほんものの京都企業』PHP 研究所、2010 年でも紹介されています。

11 月 3 日 株式会社京都放送（取締役 湯浅勝 氏）

テレビ・ラジオを兼営する放送局で、地元では「KBS 京都」の名

前で親しまれています。ネットワークに属しない（キー局をもたない）独立放送局の一つです（全国に13のテレビ局。近畿では他に、びわこ放送、サンテレビ、奈良テレビ、テレビ和歌山）。1994年にイトマン事件の絡みで会社更生法の適用を申請し、2007年10月に京都地方裁判所が更生手続きの終結を決定しました。再建にあたっては「放送の灯を消さないで」と40万人もの署名が集まり、労働組合が大きな力を発揮したことで知られています。

11月17日 HILLTOP 株式会社（代表取締役副社長 山本昌作氏）

もともとは典型的な下請け中小企業でしたが、現在の経営陣のもとで「ヒルトップ・システム」を確立し、「脱・下請け」「脱・鉄工所」を達成しました。現在は海外にも進出し、中国・上海オフィスと米国に現地法人（シリコンバレー・オフィスとアーバイン工場）を有しています。同社は「理解と寛容を以て人を育てる」を経営理念とする点でもユニークな会社です。山本昌作氏が執筆された『ディズニー、NASA が認めた 遊ぶ鉄工所』ダイヤモンド社、2019年があります。

11月24日 京都エレベータ株式会社（取締役相談役 岩島伸二氏）

1983年に創業されたエレベーターのメンテナンスを事業とする会社です。日本のエレベーター業界は5大メーカー（三菱電機・日立・東芝・日本オーチス・フジテック）とその系列子会社のメンテナンス会社が市場の90%以上を占めています。そのようなもとで京都エレベータは堅実な成長を遂げてきました。講演いただく岩島伸二氏は同社の創業者であり、長年にわたって同社をけん引してこられました。また長く京都中小企業家同友会の代表理事の任にありました。中小企業の魅力についてもお話しいただく予定です。

12月1日 株式会社島津製作所（上席専務執行役員 藤野寛氏）

1875年に初代・島津源蔵によって創業された、京都を代表する企業です（今回ご講演いただく5社のうちで上場企業は同社のみ）。現在の主要事業は、計測機器、医用機器、産業機器、航空機器の4つです。同社社員の田中耕一氏は2002年にノーベル化学賞を受賞しています（現役の企業社員として初のノーベル賞受賞でした）。島津製作

所は、いくつかの京都の優良企業の源流であったり、島津工業会を通じて京都企業のモノづくりを発展させたりしてきました。

今年度はコロナ禍のもとでしたが、対面での講義（講演）をお願いしました。じかに経営者の方々に接してほしいと考えてのことです。後期の開始時点では、いくぶん感染拡大も収まりつつあるような状況でしたが、対面授業が影響してか受講登録者は僅かでした。

この点では、講演者の方々に大変申し訳なく思いましたが、受講した学生はいずれも意欲的な姿勢で学んでくれました。ときには授業時間を延長して、学生からの質問に対応いただくこともありました。「この科目でじかに経営者の方からお話を聞くことができてよかった」という感想が寄せられています。

引き続き学生たちと一緒に「京都企業を学ぶ」、「京都企業から学ぶ」営みに取り組んでいきたいと思います。最後になりましたが、ご講演いただいた経営者の皆さま、そしてご協力いただきました各社のスタッフの皆さまに改めて御礼申し上げます。